

第 7 7 回栃木県中学校総合体育大会（野球）
第 4 9 回関東中学校軟式野球大会栃木県予選
第 1 4 回水戸市長杯東日本少年軟式野球大会栃木県予選 大会要項

1. 目的 栃木県中学校体育連盟主催大会は、中学校教育の一環として生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、体力・技能の向上と、スポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な生徒を育成する。また、スポーツの交流を通じて各学校及び生徒間の親睦を図り、生涯スポーツの基礎づくりに寄与する。
2. 主催 栃木県中学校体育連盟 栃木県教育委員会 栃木県市町村教育委員会連合会
3. 後援 (公財) 栃木県スポーツ協会 栃木県中学校長会 (一財) 栃木県野球連盟
読売新聞宇都宮支局 ナガセケンコー株式会社
4. 期日 令和6年7月22日(月) 23日(火) 24日(水) 25日(木) ※予備日26日(金)
5. 会場 栃木県総合運動公園A球場・B球場
とちぎ木の花スタジアム(栃木市総合運動公園硬式野球場) 小山運動公園野球場
益子町北公園野球場 粟野総合運動公園野球場 塩谷町総合公園野球場
システム興産スタジアム(矢板運動公園野球場)
6. 競技方法 全試合トーナメント方式、7イニング制とする。
7. 競技規則 (1) 2024年公認野球規則並びに2024年(公財)全日本軟式野球連盟競技者必携による。大会特別規定は別に定める。
(2) 大会使用球は、(公財)全日本軟式野球連盟公認(M号)とする。
(3) 1ゲーム7回戦。ただし、5回以降7点差が生じた場合には全試合においてコールドゲーム(日没・降雨も)を適用する。
(4) 全試合において、日没・降雨等による特別継続試合を適用する。
(5) 7回を終了しても勝敗が決しない場合、**8回よりタイブレーク**を行う。
- <タイブレーク>
- 継続打順で前回の最終打者を1塁走者とし、2塁走者は最終打者の前の打者とする。無死1・2塁の状態にして1イニングを行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合、以後継続打順で勝敗が決するまで繰り返す。代打・代走はルール通り認める。
- (6) 投手の投球数は、1日100球とする。ただし、100球に到達した打者の打撃が完了するまでの投球は認める。**1週間の総投球数は350球**とする。
(7) シートノックは通告より7分以内とする。
(8) 選手は20名以内で、ベンチ入場者は校長、部長、監督、コーチ(職員・外部)とする。
(9) 番号はシート番号とする。監督は背番号30、部長、コーチは背番号29、28を付けるものとする(外部指導者は背番号28とする)。
(10) メンバー表の提出は、前試合4回終了時に監督と主将が5通(本部、審判、放送、相手チーム、自チーム)持参しネット裏に集合する。同時に攻守を決定する。尚、第1試合のチームは試合開始予定時刻の40分前にメンバー表の提出及び攻守決定を行う。
(11) 試合の進行や大会運営上の問題が生じた場合、大会本部と審判で協議・決定する。
(12) 大会開催の判断がしにくい場合は、学校待機も起こり得る。
8. 参加資格 (1) 県中体連加盟の学校に在籍し、当該競技要領により、参加資格を得た者。
(2) 地域クラブ活動の参加資格等の特例については別に定める。
(3) 参加する生徒は、学齢・修業年限が一致していること。ただし、その年度の6月30日までに、地区中体連を通じて県中体連に申し出、承認を得た生徒についてはその限りではない。学齢外【様式1・2・3】
(4) 選手の大会参加については、1競技を通じて同一チームからの参加とする。
(5) 本大会の地区予選参加後に転校した場合、転出先での同一競技の出場は認めない。ただし、本大会の出場権を得た個人種目についてはその限りではない。
(6) 合同チームの大会参加については、「栃木県中学校体育連盟合同チーム参加規程」により、参加を認める。ただし、地域クラブ活動の合同チームは認めない。
(7) 拠点校部活動の大会参加については、「栃木県中学校体育連盟拠点校部活動参加規程」により、参加を認める。拠点校【様式1】
(8) 本大会のプログラム及び中学野球熱戦譜、報道発表、ホームページにおける氏名・学校名・学年・写真等の掲載については、本人及び保護者の同意を得ている者。
9. 参加チーム数 全32チーム
※栃木県少年春季軟式野球大会ベスト4チーム(県少年春季大会優勝チームが全日本少年軟式野球大会への出場が決定した場合、代表チームの地区に県出場枠を1枠追加)
地区代表28チーム
(宇河6 鹿沼2 日光1 那須5 下都賀6 芳賀3 塩谷1 南那須1 佐野1 足利1(佐野・足利で+1))
県少年春季軟式野球大会 優勝 : 作新学院中等部 準優勝: 宇都宮市立陽南中学校
第3位: 茂木町立茂木中学校・宇都宮市立若松原中学校

10. 引率・監督

- (1) 参加生徒の監督・引率は、出場校の教員・部活動指導員（※）とする。
部活動指導員が引率・監督を務める場合は、部活動指導員【様式1・2】「部活動指導員確認書（校長承認書）」に必要事項を記入し、大会事務局に参加申込時に提出する。なお、部活動指導員は他校の引率者及び依頼監督にはなれない。なお、地域クラブ活動の引率・監督については、別に定める。

※「部活動指導員」とは、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者をいう。

- (2) 教員・部活動指導員が引率できず、学校設置者の承認のもと校長がやむを得ないと判断した場合に限り「栃木県中学校体育大会監督・引率細則」により、校長が引率者として適切であると承認した外部指導者に引率及び監督の資格を認める。
外部指導者が引率・監督を務める場合は、外部指導者【様式1・2】「外部指導者確認書（校長承認書）」に必要事項を記入し、参加申込時に提出する。
- (3) 栃木県中学校体育連盟の主催大会に出場するチーム・生徒の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者（コーチ）、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者または学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。また、地域クラブ活動の指導者においては、日本スポーツ協会公認指導者の処分等に該当しない者であることとする。さらに、指導者が校長（代表者）から校長から暴力等に関する指導処分を受けていないこととする。校長（代表者）はこの点を確認して、大会申込書を作成する。

11. 外部指導者 （コーチ）

- (1) 当該校長が、人格・指導面において優れていると認めた20歳以上の成人で、学校の教育方針に基づき、顧問教員の指導計画に従い、日頃から指導にあたっていること。
- (2) 中学校の教職員は、外部指導者として認めない。
- (3) 規則違反・不適切な言動等があった時は、専門部長または競技委員長から当該校の校長に連絡すること。

12. 代表者会議

- (1) 日 時：7月9日（火） 14：30～
- (2) 場 所：宇都宮市立清原中学校
- (3) 申込書：2部提出
（1部はコピー可 栃木県少年野球協会HPよりDLして作成）

13. その他

- ・優勝、準優勝チームは、第49回関東中学校軟式野球大会に出場する。
関東大会 期 日：8月7日（水）～10日（土）
場 所：栃木県宇都宮市 他
- ・全国大会 期 日：8月19日（月）～23日（金）
場 所：福井県敦賀市 他
- ・代表決定戦勝利チームは、水戸市長杯第14回東日本少年軟式野球大会に出場する。
期 日：8月9日（金）～12日（月）
場 所：茨城県水戸市

第 5 9 回 栃 木 県 中 学 校 新 人 体 育 大 会 (軟 式 野 球)
第 2 7 回 関 東 ・ 東 北 ・ 北 信 越 少 年 新 人 野 球 大 会 栃 木 県 予 選
文 部 科 学 大 臣 杯 第 1 6 回 全 日 本 少 年 春 季 軟 式 野 球 大 会 E N E O S ト ー ナ メ ン ト 栃 木 県 予 選 大 会 要 項

- 1 目 的 栃木県中学校体育連盟主催大会は、中学校教育の一環として生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、体力・技能の向上と、スポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な生徒を育成する。また、スポーツの交流を通じて各学校及び生徒間の親睦を図り、生涯スポーツの基礎づくりに寄与する。
- 2 主 催 栃木県中学校体育連盟 栃木県教育委員会 栃木県市町村教育委員会連合会
- 3 後 援 (公財) 栃木県スポーツ協会 栃木県中学校長会 (一財) 栃木県野球連盟
株式会社下野新聞社 ナガセケンコー株式会社
- 4 期 日 令和6年10月18日(金)・19日(土) ※予備日21日(月)
- 5 会 場 栃木県総合運動公園 エイジェックスタジアム・A球場・B球場・C球場
- 6 競技方法 全試合トーナメント方式、7イニング制とする。
- 7 競技規則 (1) 2024年公認野球規則並びに2024年(公財)全日本軟式野球連盟競技者必携による。大会特別規定は別に定める。
(2) 大会使用球は、(公財)全日本軟式野球連盟公認(M号)とする。
(3) 1ゲーム7回戦。ただし、5回以降7点差が生じた場合(日没・降雨も含む)には全試合においてコールドゲームを適用する。
(4) 全試合において、日没・降雨等による特別継続試合を適用する。
(5) 7回を終了しても勝敗が決しない場合、8回よりタイブレークを行う。
- <タイブレーク>
- 継続打順で前回の最終打者を1塁走者とし、2塁走者は最終打者の前の打者とする。無死1・2塁の状態にして1イニングを行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合、以後継続打順で勝敗が決するまで繰り返す。代打・代走はルールどおり認める。
- (6) 投手の投球数は、1日100球とする。ただし、100球に到達した打者の打撃が完了するまでの投球は認める。1週間の総投球数は350球とする。
(7) シートノックは通告より**5分以内**とする。
(8) 選手は20名以内で、ベンチ入場者は校長、部長、監督、コーチ(職員・外部)とする。
(9) 番号はシート番号とする。監督は背番号30、部長、コーチは背番号29、28を付けるものとする(外部指導者は背番号28とする)。
(10) メンバー表の提出は、前試合4回終了時に監督と主将が5通(本部、審判、放送、相手チーム、自チーム)持参しネット裏に集合する。同時に攻守を決定する。尚、第1試合のチームは試合開始予定時刻の40分前にメンバー表の提出及び攻守決定を行う。
(11) 試合の進行や大会運営上の問題が生じた場合、大会本部と審判で協議・決定する。
(12) 大会開催の判断がしにくい場合は、学校待機も起こり得る。
- 8 参加資格 (1) 県中体連加盟の学校に在籍し、当該競技要領により、参加資格を得た者。
(2) 地域クラブ活動の参加資格等の特例については別に定める。
(3) 参加する生徒は、学齢・修業年限が一致していること。ただし、その年度の6月30日までに、地区中体連を通じて県中体連に申し出、承認を得た生徒についてはその限りではない。学齢外【様式1・2・3】
(4) 選手の大会参加については、1競技を通じて同一チームからの参加とする。
(5) 本大会の地区予選参加後に転校した場合、転出先での同一競技の出場は認めない。ただし、本大会の出場権を得た個人種目についてはその限りではない。
(6) 合同チームの大会参加については、「栃木県中学校体育連盟合同チーム参加規程」により、参加を認める。ただし、地域クラブ活動の合同チームは認めない。
(7) 拠点校部活動の大会参加については、「栃木県中学校体育連盟拠点校部活動参加規程」により、参加を認める。拠点校【様式1】
(8) 本大会のプログラム及び中学野球熱戦譜、報道発表、ホームページにおける氏名・学校名・学年・写真等の掲載については、本人及び保護者の同意を得ている者とする。
- 9 参加チーム数 全16チーム
地区代表チーム
(宇河3 鹿沼1 日光1 那須2 下都賀3 芳賀2 塩谷1 南那須1 佐野1 足利1)

- 10 引率・監督
- (1) 参加生徒の監督・引率は、出場校の教員・部活動指導員(※)とする。
部活動指導員が引率・監督を務める場合は、部活動指導員【様式1・2】「部活動指導員確認書(校長承認書)」に必要事項を記入し、大会事務局に参加申込時に提出する。なお、部活動指導員は他校の引率者及び依頼監督にはなれない。なお、地域クラブ活動の引率・監督については、別に定める。
※「部活動指導員」とは、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者をいう。
- (2) 教員・部活動指導員が引率できず、学校設置者の承認のもと校長がやむを得ないと判断した場合に限り「栃木県中学校体育大会監督・引率細則」により、校長が引率者として適切であると承認した外部指導者に引率及び監督の資格を認める。
外部指導者が引率・監督を務める場合は、外部指導者【様式1・2】「外部指導者確認書(校長承認書)」に必要事項を記入し、参加申込時に提出する。
- (3) 栃木県中学校体育連盟の主催大会に出場するチーム・生徒の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者または学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。また、地域クラブ活動の指導者においては、日本スポーツ協会公認指導者の処分等に該当しない者であることとする。さらに、指導者が校長(代表者)から暴力等に関する指導処置を受けていないこととする。校長(代表者)はこの点を確認して、大会申込書を作成する。
- 11 外部指導者(コーチ)
- (1) 当該校長が、人格・指導面において優れていると認めた20歳以上の成人で、学校の教育方針に基づき、顧問教員の指導計画に従い、日頃から指導にあたっていること。
(2) 中学校の教職員は、外部指導者として認めない。
(3) 規則違反・不適切な言動等があった時は、専門部長または競技委員長から当該校の校長に連絡がある。
- 12 安全対策
- 大会期間中における安全対策及び緊急時の対応については、栃木県中学校体育連盟危機管理マニュアル及びEAPシートにより適切に対応する。
- 13 代表者会議
- (1) 日 時：10月1日(火) 14:30～
(2) 場 所：宇都宮市立清原中学校
(3) 申込書：2部提出
(1部はコピー可 栃木県少年野球協会HPよりDLして作成)
- 14 その他
- ・優勝チームは、文部科学大臣杯第16回全日本少年春季軟式野球大会ENEOSトーナメントに出場する。
期 日：令和7年3月下旬
場 所：岡山県 他
 - ・優勝、準優勝チームは、第27回関東・東北・北信越少年新人野球大会に出場する。
期 日：11月9日(土)・10日(日)
場 所：栃木県総合運動公園
エイジェックスタジアム(本球場)・A球場・B球場・C球場